

姉妹都市派遣事業を終えて

下吉田中学校 杉本 新

私は今回、姉妹都市派遣事業に参加させてもらい、アメリカでの生活を体験する中で、とてもたくさん
のことを学ぶことが出来ました。今からその中で最も自分自身の学びになったことを二つ挙げたいと思
います。

まず一つ目は、日本とアメリカのコミュニケーションの頻度の違いです。日本では、町なかで誰かがく
しゃみをして、その周りにいる人達は特に反応しないと思います。しかし、アメリカで私がくしゃみを
した際、近くにいたおじさんが「お大事に。」と笑顔で言ってくれました。私はその言葉を受け取り、純粋
にうれしいと思うと同時に、アメリカは温かい言葉が日常的に飛び交っていて、とても良い国だと思いま
した。そして、自分もこれから学校で温かい言葉を友達に言っていき、アメリカ人のような温かさを広め
ていきたいと思いました。

二つ目は、日本人とアメリカ人の心の広さの差です。日本では、店などに入る際は自分でドアを開けて
入ります。それ自体はいたって普通であたりまえのことです。しかし、アメリカでは、店などに入ろうと
すると、高確率で自分の先に店に入ろうとしていた人が、ドアを開けておいてくれます。その度に、今ま
で他人のことは考えずに、ドアを開けたらすぐ店に入っていた自分自身が恥ずかしくなりました。そのよ
うな面から、やはりアメリカ人は日本人より心が広くて、余裕を持っているのだと思います。そして今回、
私はアメリカ人のそのような心の広さに魅せられたので、日本での生活の中で、アメリカ人のような余裕
のある行動をしていきたいと思いました。

このように私はアメリカでの生活の中で、人生においても大切なことを学んだ気がします。また、現在
の日本は世界的に様々な分野での技術が発達していたり、経済的に豊かだったりします。そして、それを
良いことに、他の国と比較して蔑んでいる人が多くいると思います。なので私は、そのような人達に対し
て、海外には日本人なんかよりずっと人との関わりを大切にしている人達がいるという事実を広めていき
たいです。そして、それを広めていく第一歩として、まず自分自身が日頃から人との関わりを大切にする
ような行動や、コミュニケーションの取り方などを実践していきたいと思います。いや、実践します。